第２回　高齢者居住安定確保計画策定委員会における指摘事項と対応

１．安定した高齢者居住に関する基本的要素について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 「介護・生活支援」のところに、「医療」を追記してほしい。 | 畔上 | 基本的な要素に対して、様々な意見が出たので、再整理を行う。  本市の地域包括ケアシステムの考え方と実施状況について説明する。 |
| 住み続けたいと思うのは地域の中でコミュニケーションが図られているからである。 | 畔上 |
| 「コミュニティ」について、共助、互助といった視点を明記してはどうか。家族の助け合いも共助のひとつである。  「住宅の質」は「住環境」として、地域のことも含めたハード面を整理し、「コミュニティ」のところは、ソフト面の整理としてはどうか。 | 小林 |
| 「居住支援」とあるのを「生活支援」としてはどうか。 | 中島 |
| 分野が広すぎるので、「居住支援」は残したほうが良い。 | 小林 |
| 「居住支援」のところ緊急通報システムとあるが、ここではないのではないか。  かかりつけ医や、緊急連絡が取れるようなコミュニケーションツールはハードだがソフトの面もある。「住宅の質」にソフトの視点を入れることと、「介護・生活支援」にもツールのことが入ると良い。 | 高橋（章） |
| 具体的な内容と抽象的な内容があり、分かりにくいところがある。 | 近藤 |
| 災害対策についても取り上げてはどうか。「安心して住み続けられる」ためには必要な視点と言える。 | 高橋（章） | 災害対策という視点については、全ての要援護者に該当するため、住生活基本計画で検討する。 |
| 災害時に高齢者がどこに行くかは大切な視点である。 | 中島 |

２．住宅の対象について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 高齢者施設について検討するのか、住宅について検討するのか。 | 林 | 高齢者施設、高齢者住宅の特徴と整備計画数（H27～29）について整理する。  （介護保険事業計画で、施設の整備計画数が設定済み） |
| 制度としては特養や有料老人ホームなどは施設、サービス付き高齢者向け住宅などは住宅に区分されるが、地域の中にどのようなものがあるかが大切なので、区別せずに検討してはどうか。 | 小林 |
| アンケート調査について、サービス付き高齢者向け住宅と有料老人ホームの比較ではなく、ケアハウスの居住者について行うべきではないか。有料老人ホームは高額の入居金により安心を買うもので、サービス付き高齢者向け住宅と比較する意味はないのではないか。 | 柿沼 |

３．基本理念について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 基本理念の文言について、理念というよりも理想の姿を書いたように思える。 | 高橋（弘） | 趣旨を変えずに、わかりやすい文章に変更するか検討する。 |
| 基本理念について、前半部分の主語は市民のようであり、後半部分の主語は行政のようである。ぶれてはいないか。 | 高橋（弘） |
| 前半は住宅の主語は住宅市場、後半部分の主語は行政という書き方になっているようだが、こう書いたことの趣旨は分かる。 | 小林 |

４．基本目標について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 高齢者に多様なニーズがあると言えるのだろうか、高齢者はニーズを話してくれないものだ。 | 林 | 多様なニーズについて、身体の変化、経済状況の変化、家族構成の変化などによる多様化を捉えて言っている。  多様な住まい方の支援については、居住支援の中で検討する。 |
| 多様なニーズについて、介護になる前の住まい方に様々な形態が出て来ている。茶飲み同居、グループリビング、ホームシェアなど。 | 小林 |
| 認知症の問題は、クロスが変わるだけでも混乱するということだ、多様性とはそのような意味もある。 | 畔上 |
| 住宅の多様性と個人の多様性という視点も大切。 | 中島 |
| 基本目標について、多様な住まいの支援を追記してほしい。 | 小林 |

５．施策について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 指摘事項 | | 発言者 | 対応 |
| 親元同居 | 親元同居の支援とあるが、介護などのための一時的な住み替えも対象となるのか。住み替え支援、引っ越しの支援など、どこまで行うのか。 | 畔上 | 先進事例を参考に、対象や範囲等を検討する。 |
| 地域包括ケアと住まい | 全員が自宅に住み続けることは難しいので、どこに住み替えるかを考えることが重要。そのため、今の住み慣れた地域のなかで、住み替えることを位置付ける必要がある。 | 小林 | できるだけ住み慣れた地域で住み続けられるような住み替え支援を検討する。 |
| サービス付き高齢者向け住宅の複合化 | 福祉施設の複合化について位置付けてはどうか。現在登録済みのサービス付き高齢者向け住宅は、ほぼ複合化している住宅である。 | 小林 | 船橋市内のサービス付き高齢者向け住宅はほぼ何らかの施設と複合化している。 |
| サービス付き高齢者向け住宅の複合化について、すべてが揃ったところへの住み替えがよいのだろうか。 | 柿沼 |
| 選択肢は多い方がよい。透析を専門としてサービス付高齢者向け住宅もあるときいている。 | 畔上 |